No.	意見者	ご意見	回答
1	幅委員	各課の取組結果の評価について、「評価B以上であれば目標を達成したと考える」とありますが、限りなくCに近いB評価であった場合、目標達成と考えるのは疑問です。不十分な点が残っている以上は目標達成と考えるべきではないと思います。（P12　1-1-2-3などは障害者を抱える私自身の実体験から、まだまだ目標には程遠い現実を実感しています。）	評価基準には幅があるため、どうしても「Cに近いB」も出てしまいます。各課には、目標を達成したと言えるかどうかを念頭におきつつ、BかCかを厳密に判定するよう、促してまいります。
2	千代委員	新型コロナウイルスの影響で実施できなかったことが多くあったのでは非常に残念です。コロナが収束してもこの先どのような状況になるか予測が立たず、「新型コロナウイルス対応を見据えた業務遂行方法を検討する」という方向性は大いに期待するところです。	新型コロナウイルスの感染拡大は長期化しており、今後の市の取組の考え方も改めなければならないと感じています。 例えば、オンラインを活用して会議や講演会を実施するなど、本委員会の開催方法も含め、感染予防に努めながら、実効性ある取組を検討してまいります。
3	千代委員	取組の対象が団体（グループ）であることが多く、団体に所属していない（対象から漏れてしまう）人に対してどのような対応をしていくのか気になりました。	団体だけでなく個々の活動者に支援が必要ということでしょうか？例えばボランティア活動であれば、直接の窓口となる社会福祉協議会を通じて支援しています。検討違いの回答でしたら申し訳ありません、改めて意図をお伺いできますと幸いです。
4	関委員	「鎌倉市地域福祉計画」と推進報告書（資料２）を見比べながら進捗状況を確認しました。資料の作成方法にもう少し工夫があればと思います。例えば1-1-1-1の前に「目標１　総合的な相談体制の確立」の文言を挿入することで容易に理解できるのではないかと思います。それから「資料３」　４ページに評価の内訳は８２ページに記載とありますが、８４ページの間違いだと思います。	ページ数の誤りに関しては大変失礼いたしました。 また、資料の体裁につきましては、ご指摘のとおり各目標の内容説明をいたします。
5	関委員	本計画の進捗状況・評価と市民の評価を確認するために令和4年のある時期に「市民満足度調査」実施を検討したらどうでしょう。	本計画の上位計画は「鎌倉市総合計画」であり、所管する企画課が大規模な「市民意識調査」を例年実施しています。この調査結果を踏まえ、今後の進捗に生かしてまいります。
6	相川委員	全体の評価としておおむね良好に進められていることを評価します。評価をするにあたって、取組みごとに評価指標を持って行っていると思いますが、「取組実績」の記載の中に「取組内容」と合わないものが見られました。評価しにくかったのではと思料します。	どの取組であったか詳細を確認し、担当課と今後の方針や評価方法について調整を進めてまいります。
7	相川委員	「年度目標」の設定も併せて事業の進捗によっては「取組実績」を変更していくことも検討してもよいのではないでしょうか。	取組実績は毎年の実績に合わせて変わっていく想定です。

8	木山委員	かなり細かく具体案や実績が記載されており、わかりやすかったです。一市民として市役所さんの変化は感じており、この計画を元に更に色々な方にとって住みやすい鎌倉になっていくことを願っております。	わかりやすい資料作りを心がけておりましたので、ご意見大変うれしく思います。まだまだわかりにくい点もあるかと思いますので、今後とも精進してまいります。
9	木山委員	「1-1-1-1」取り組み内容が「〜〜検討します。」とあり、実績として「〜〜検討を分野横断的に行った」とありますが、もう少し具体例を記載していただけたらと感じました。（全般的に関わることなので具体例が難しいのかもしれませんが。）２、「5-2-3-5」R2の実績で「〜〜周知を行なっている」は何ででしょうか？	具体にイメージしやすい表現に修正できるか担当課と調整してまいります。
10	木山委員	他、全体的に感じたのが、「市役所に来てくれた方やSNS・広報等には情報をお知らせしました」と実績がありますが、スマホ料金も払えず、市役所にも相談に行かない（推測ですが）方々にどのようにしたらこれらの情報をお伝えできるのかな？と考えてしまいました。以前は見掛けない方々を目にするようになりましたので気になりました。	市民の皆様に、必要な情報をいかにして伝えるかは、全庁的な課題と捉えています。SNSなど新しい情報伝達手段を活用する一方で、そのような媒体を使えない方々にも情報が伝わるよう、引き続き効果的な情報伝達手段の検討に努めてまいります。
11	木山委員	3箇所、校正に関してなのですが気になりましたので念の為お伝えしたいと思います。 【１】P36　「4-1-2-2」の取組名に関しまして『再掲3-1-1-7』とありますが『再掲3-1-1-8』と思われます。 【２】P62　「 4-1-8-3」の取組名に関しまして『再掲4-1-5-10』とありますが『再掲4-1-5-9』と思われます。 【３】P80　「5-2-5-6」の取組名に関しまして『再掲4-2-1-3』市民や福祉事業者に対する虐待などの防止に向けた広報啓発活動の推進とありますが、他と揃えるのでしたら（虐待防止の周知・啓発）ではないでしょうか？ ご確認いただけたら幸いです。既に修正済みの場合や私の勘違いでしたら、申し訳ございません。	細やかにご確認いただきありがとうございます。 ご指摘の箇所を確認しましたところ、【1】【2】につきましてはご指摘のとおり誤りがございました。大変失礼いたしました。進捗状況報告書の内容を修正するとともに、地域福祉計画本書については、正誤表を作成します。 【3】につきましては、進捗状況報告書のみの誤りであるため、修正させていただきます。 なお、正誤表は、本書送付先への配布、手元にある在庫分及び閲覧用への挟み込み、市ホームページでの公開にて周知してまいります。
12	國分委員	意見はありません。 コロナ禍の中、作成ご苦労様でした。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。各課の職員ともども今後とも精進してまいります。
13	川上委員長	新型コロナ禍の中で、思うように計画を進めることが困難かと思います。その中でも出来るところから少しずつでも取り組んでおられる様子が伝わりました。	温かいお言葉をいただき ありがとうございます。以前と同じようにとはいきませんが、現場の状況に合わせて取組を進めてまいります。